

II 新たな行財政改革の着実な推進

レジリエントな行政体制の強化（予算関連）

～「行政DX・新たな価値を創出する働き方改革」の推進に係る主な取組～

業務効率化に資する新たなデジタル技術の積極的な導入・検証や既存システムの更新に合わせた最適化など、庁内のデジタル基盤の整備・改善を図ります。また、やまぐちワークスタイルシフトの取組を通じて、時代に即した働きやすい職場環境づくりを進めます。

デジタル技術等の活用による業務効率化・県民の利便性向上

●オンライン手続き拡大に向けた収入証紙廃止、新たな収納窓口設置（令和8年度）



●県立高校WEB出願システム導入

出願や入学試験料の納入のオンライン移行

●eLTAX収納範囲拡大

電子納付の対象を地方税以外（使用料、手数料等）にも拡大



●美術館や博物館など県民利用施設へのキャッシュレス決済の導入

クレジットカードやQRコード決済等のキャッシュレス決済を導入

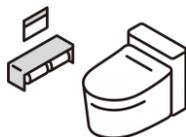


職場環境等の整備

●県有施設トイレ洋式化

整備対象：県有施設の和式便器 約3,000器

区分	県庁舎	学校	その他※
数量	約590器	約1,460器	約950器



※県民利用施設等

整備期間：令和7～11年度（総事業費 36億円）

●職場のフリーアドレス等の導入

職員の多様で柔軟な働き方の実現やコミュニケーション活性化に向けた執務室のフリーアドレス化等を実施



持続可能な財政基盤の確立

持続可能な財政構造をより確かなものにするため、歳入・歳出両面から改革の取組を徹底するとともに、将来の財政需要や政策課題への機動的な対応に備えた財源の確保を図ります。

収支均衡した財政構造の維持・向上

投資的経費の計画的な管理や事務事業の不断の見直し等により**歳出構造の最適化**を進めるとともに、受益者負担の適正化などを通じて、**歳入の更なる確保**を図ります。

●プライマリーバランスの黒字堅持

【県債全体】 14年連続黒字（+388億円）

【一般分】 25年連続黒字（+51億円）

●県債残高の抑制

（単位：億円）

区分	R4	R5	R6	R7
県債全体	11,511	11,113	10,976	10,633
うち一般分	6,932	6,847	7,023	7,005

※R4・R5末は決算、R6末は2月補正後予算、R7末は当初予算ベース

●交付税措置率の高い県債の活用

脱炭素化推進事業債やデジタル活用推進事業債など
交付税措置率の高い県債を最大限活用

●事務事業の不断の見直し

施策的経費シーリングにより一般財源捻出（5億円）

●受益者負担の適正化

物価上昇等を踏まえた使用料・手数料の見直し

将来負担等への機動的な対応を可能とする財源の確保

公共施設の老朽化対策などの将来負担や災害・感染症対応などに備えるため、基金の積増しを行うなど、**機動的な対応を可能とする財源を確保**します。

●重点施策推進のための基金の積立・活用

改革期間中の財政需要等を踏まえ、2基金を積み増し、
令和7年度予算を含む期間中の財源に活用

（単位：億円）

基金区分	積立額 (2月補正)	充当額 (R7当初予算)	基金残高 (R7末)
安心・安全基盤強化基金	150	24	198
デジタル実装推進基金	30	17	34
脱炭素社会実現基金	—	15	35
活性化・県民活力創出基金	—	5	25

●財源調整用基金の確保

（単位：億円）

R3	R4	R5	R6	R7
95	90	98	117	147

※当初予算ベース（年度末残高）